

五條池のフジの花の下で



今 は昔、もう今昔物語になった20数年前、鶴川周辺にはのどかな田園風景も残り、そこを蛇行して川が流れていた。真光寺川は改修で都市型の治水機能優先で、直線の人工河川に変身したのが現在の川の姿である。暴れ川でもあり、大雨がある度に洪水となり住民を困らせていた。人が近づきにくい藪を流れるこの川は、あまり親しみが持てなかったが、現在では遊歩道も整備され、朝夕は人々が河畔に沿ってウォーキングを楽しむ憩いの場になっている。淀みもありも関もある。せせらぎの風情もあって、都心でよく見るい

.....
た当時の「真光寺川を清流にする会」の山口会長が町田市と粘り強い交渉の末に水道使用が認められた。実に朗報であった。夏季は梅雨時を除き、空からの給水だけではおぼつかない。以来、冬期を除いて週に2~3回給水している。

2 年前に池が出来て初めてのカイボリがあった。池に沈殿していた20数年来の落葉がヘドロとなり水底の砂利を覆い、メダカにイカリ虫が寄生し、水底の砂利にいるバクテリアのもたらず水質浄化機能を妨げていた。カイボリがあると

かにも人工河川といった川の姿ではなく、巧みに自然と共生している。

そ の川の改修の際に湧水を利用して川のそばに池が造られた。藤棚とベンチがあり、池には鯉も数匹いて、心憎い行政の試みであった。メダカも会のメンバー数人と30匹ほど放流したのが現在のメダカのご先祖さまたちである。蛍の再生も夢ではない好条件下の池であった。

ところが急速に宅地造成が進み湧水はたちまちに枯渇し水質は極度に悪化した。水は濁り赤虫が湧き、見る影もない姿に変貌した。見かね

聞いたときには思わず小躍りした。大袈裟にいうと天祐である。池の水を川に流しヘドロを駆除し、カイボリの後に川の水を入れて池のルネサンス、再生ができた。難点は余分のものが取り除かれて魚の隠れ家が少なくなったことである。清流の会でもらい受けたゴルフ練習用ネットを利用して隠れ家を設置したが、これは見事に機能し、フナ・鯉が出入りしている。コサギも網には近づかない。

今 年は例年になく、といっても（裏面へ続く）

子供が遊べるふるさとの川へ、自然豊かな川の散歩道に、きれいな川にしましょう！

初めてのことが藤が見事に開花した。4月20日から1週間ぐらいの期間。多くの人が見にきていた。数年前に植え替えた藤が時を経て満開したのであろうが、今後は一過性ではなく毎年、このような高貴な薄紫の姿を見せてもらいたいものである。しかしその後がまた大変であった。大量の落下した花びらが水面を覆い、二日かけて、処理した。池の周辺に盛り上がっているのがその落ち葉と藤の花の塊である。

この池はビオトープであるが完全なビオトープ

園の園児に人気がある。メダカが群れを成して遊泳しているのを見ていると心が和むものである。

この”住民”は鮒5、6匹、ドジョウが数匹、鯉1匹、メダカは2百匹くらいであろうか。ミナミヌマエビもかなり増えている。

こうして永年池に接触していると当然愛着も沸く。ほぼ毎朝、散歩を兼ねて地回りよろしく、池の周辺を徘徊しているから変化には気が付きやすい。今年はホテイアオイをかなりの量

プではない。人の手を借りて存続できる保護池である。外敵からの保護、水質管理、水道管理、汚物処理等などが必須である。外敵はカラス・カワウ・コサギ・悪童であり池の魚類を襲う。またよく水道蛇口が取り外されたり悪質な悪戯も少なくない。水道管理は止水であるだけに日ごろの観察が欠かせない。

河 畔に池があり日陰にベンチがあつていいところですね”、と年配の女性から給水しているときに話かけられたことがある。特に幼稚

入れたからメダカの産卵がいい筈だし、水質浄化にも役に立つ。池は生きている。ほんのちょっと人の手をかけるだけで。そろそろメダカが孵化する時期だ。目を凝らして池の成果を稚魚の数で確かめていただきたい。

ちなみに五條池は当初からなんとなく池に携わっていたからか、いつしか五條池と呼ばれているがあくまでも便宜上の名称であることは論を俟たない。(文：五條吉和、写真：野田敏之)

メダカポスト：お礼

4月～5月は、能ヶ谷4丁目の鈴木様、真光寺3丁目の仲村様からのご寄付を合算し、11,000円でした。

真光寺川を清流にする会の活動にお寄せいただいたご厚志に深く感謝いたします。



7月・8月の清掃(クリーン作戦)の予定

☆7月11日(日)、8月8日(日)

☆集合：9:30 下堰親水広場

(能ヶ谷4丁目、魅力屋ラーメン店裏)

☆持物：軍手。その他ごみ袋、火ばさみや長靴など一部用意があります。

☆解散予定 11:00

○緊急事態宣言が発令されている場合は中止と致します。 ○どなたでも参加できます。

一緒に川をきれいにしませんか

4月の清掃報告

11日に清掃を行いました。この日の天候は晴れ、9名が参加し、9袋のゴミと傘1本を分担して回収しました。

コロナ禍もあり、今年初めての清掃となりました。川の中は雨のせいかわ、ゴミは少なめで、むしろ外周道路の植栽地などにゴミがかなり溜まっていました。

川の水量は少なく泥のような水綿が多く流れていました。水温も上がり小魚が群れをなして泳いでいました。

☆5月の清掃はコロナ禍による緊急事態宣言発令中のため中止となりました。

お知らせ

例年7月に行っている「真光寺川まつり」について、今年度もコロナ禍のため中止と致します。